

平成 29 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

【日 時】平成 29 年 11 月 28 日（火） 15：06～16:31

【場 所】琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター

【参加者】 8 名：松野和彦（那覇市立病院）、赤松道成（北部地域医師会病院）、山本孝夫（県立八重山病院）、石川裕子（県立宮古病院）、大湾盛治（患者の立場の者）、大城まち子（沖縄県教育庁）、平田哲夫（琉大病院診療情報管理センター）、増田昌人（琉大病院がんセンター）

【欠席者】 2 名：長野宏昭（県立中部病院）、荻堂真紀子（沖縄県保健医療部）

【陪席者】 1 名：山口 元子（琉大病院がんセンター）

【報告事項】

1. 平成 29 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 29 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

2. 【施策 3】一般向け講演者リスト（人材バンク）について

資料 2 に基づき、一般向け講演者リストについて、増田委員より、事業開始当初は活用されていたがここ数年は活用されていない様子がないため、リニューアルしたいとの提案があった。松野部会長より、ニーズがないから活用されないのか、リストが使いにくいから活用されないのか検討した方がいいとの意見があり、まずはニーズを調べるため、現在のように直接講師にアポイントを取るのではなく、事務局を通して依頼して頂く方式に切り替え、1 年様子を見ることになった。また、事務局を通すのなら講師の個人名は掲載不要ではないかとの意見があり、ホームページに掲載する情報も検討し直すことになった。

3. 【施策 9】専門的病院におけるがん種毎の担当医の公開について

資料 3 に基づき、専門的病院におけるがん種毎の担当医の公開について、増田委員より①主要専門医資格を 1 つに絞ることと、どの資格を掲載するかを取捨選択は事務局に委任して頂くこと、②医師は 1 病院につき 1 名掲載することが提案された。委員より、医師の掲載を 1 病院 1 人にすると、例えば呼吸器内科と呼吸器外科がある場合はどうしたらよいのかとの意見があり、原則 1 病院 1 人で、多くて 2 人まで掲載とすることが了承された。また、1 人の医師しか診療していないのではなどと誤った解釈をされるのを防ぐため、注釈を入れることも提案された。

4. 【施策 7】学校教育者向けの研修会

資料 4 に基づき、8 月 9 日に開催された養護教諭 5 年経験者研修、8 月 17 日に開催された養護教諭 10 年経験者研修について、増田委員より報告があった。

【協議事項】

1. 【施策 5】がん検診啓発活動（ポスターコンテスト）の審査について

資料 5 に基づき、がん検診啓発ポスターコンテストの審査が行われた。沖縄県がん診療

連携協議会での投票による予備審査の結果も踏まえ、審査の結果、最優秀賞に沖縄県立開邦高等学校 1 年平良瑚雪さん、優秀賞に沖縄県立開邦高等学校 3 年仲本すみれさん、沖縄県立浦添工業高等学校 2 年與那覇三稀さん、うるま市立与勝中学校 3 年比嘉茜さんの作品が選ばれた。

2. 専門部会の再編について

資料 6 に基づき、専門部会の再編について増田委員より説明があった。第 3 次沖縄県がん対策推進計画（案）が沖縄県がん対策推進協議会にて公表されたことと、沖縄県がん診療連携協議会の専門部会ができて 10 年経っており、発足時とは時代背景やがんを取り巻く状況が変わってきているのを受けて、専門部会の再編について協議したいとのことだった。

3. その他

大城委員代理より、沖縄県のがん教育について情報提供があった。がん教育はこれまで単発での実施となっており、これから全ての学校へ展開しなくてはならないので、模索している段階である。がんについては保健体育の教科書に掲載されているので、授業を行うのは保健体育の教員になるが、専門家に外部講師として授業に参加してもらうよう国のガイドラインにはある。専門家として医師に協力してもらいたいとのことだった。増田委員からは、医師やがん経験者は教育の専門家ではないので、生徒への影響を考えると何の訓練も受けずに授業を行うのは望ましくないこと、また、全ての学校で授業を実施することを考えると、特に離島では人材が足りないのではないかとの意見があった。松野委員長からは、同じ話をしても聞き手によって全然違う受け取られ方をした経験があり、個人にあわせた話し方が必要で、生徒に話すとなるとより難しく、がん教育の授業を見学した際に教師のスキルには到底及ばないと感じたとの意見があった。平田委員からは、質問があったら答えるという形のコメンテーターなら医師にもできるので、タイアップして授業を行ってはどうかとの意見があった。

4. 普及啓発部会開催日について

次の普及啓発部会は 2 月 20 日（火）16 時を第一候補とし、メールにて連絡することになった。

2017年（平成29年度）ポスターコンテスト

応募いただいた学校		応募数
中学校 (9校応募)	浦添市立神森中学校	9
	那覇市立上山中学校	21
	名護市立大宮中学校	6
	宮古島市立上野中学校	1
	うるま市立与勝中学校	2
	浦添市立港川中学校	2
	沖縄市立宮里中学校	2
	南大東村立南大東小中学校	8
	糸満市立糸満中学校	5
高等学校 (6校応募)	沖縄県立開邦高等学校	18
	沖縄県立浦添商業高等学校	71
	沖縄県立那覇高等学校	1
	沖縄県立小禄高等学校	7
	沖縄県立美来工科高等学校	3
	沖縄県立浦添工業高等学校	29

(15校応募)

185作品

	応募校	応募数
平成28年度	26校	116作品
平成27年度	27校	204作品
平成26年度	18校	105作品
平成25年度	13校	47作品

第7回 がん検診啓発ポスターデザインコンテスト

【最優秀賞】

①氏名：平良 瑚雪（たいら こゆき）

②学校名：沖縄県立開邦高等学校

③学年：1年

④説明：どんな人にも大切な人がいて、その人を悲しませないためにもがん検診を受けて長生きしてほしいという思いを込めて描きました。



第7回 がん検診啓発ポスターデザインコンテスト

【優秀賞】

- ①氏名：仲本 すみれ（なかもと すみれ）
- ②学校名：沖縄県立開邦高等学校
- ③学年：3年
- ④説明：この絵は、親子の絵で子供がお母さんにがん検診を受けたか聞いている所です。親子の絆を表現しました。



第7回 がん検診啓発ポスターデザインコンテスト

【優秀賞】

①氏名：比嘉 茜（ひが あかね）

②学校名：うるま市立与勝中学校

③学年：3年

④説明：大好きなお父さん、家族との思い出を大切にずっと一緒にいてほしいからがん検診をかかさず忘れずに受けてほしいという思いで描きました。



第7回 がん検診啓発ポスターデザインコンテスト

【優秀賞】

- ①氏 名：與那覇 三稀（よなは みき）
- ②学校名：沖縄県立浦添工業高等学校
- ③学 年：2年
- ④説 明：家族のあたたかさを描きました。

